

# 平成31年度予算のあらまし

一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆1,093億円で、前年度比302億円増加し、震災以降引き続き1兆円を超える高い水準となりました。

一般会計では、幼児教育の無償化等による健康福祉費の増加や、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券発行等による経済費の増加などにより、前年度比173億円増の5,563億円となりました。

また、特別会計は公債費の増加などにより160億円増加し、企業会計は下水道事業における復興事業の進捗に伴う工事費の減少などにより、31億円減少しました。

## 歳入 市税収入や国庫支出金が増加

市税収入は、県費負担教職員権限移譲に伴う県から市への税源移譲等により、前年度に比べて76億円増加しました。また、子ども・子育て関連経費等の財源として、国庫支出金が65億円増加しました。

## 歳出 健康福祉費などが増加

子育て支援や障害者福祉など社会福祉に要する費用である健康福祉費は、幼児教育の無償化等により増加し、2,000億円（36.0%）と最も大きな割合を占めました。次いで、学校建設費の増加などにより教育費が964億円（17.3%）、土木費が631億円（11.3%）となりました。

## 平成31年度の会計別の予算規模

	平成31年度（前年度比）
一般会計	5,563億円（173億円増加）
特別会計	3,170億円（160億円増加）
企業会計	2,360億円（31億円減少）
合計	1兆1,093億円（302億円増加）

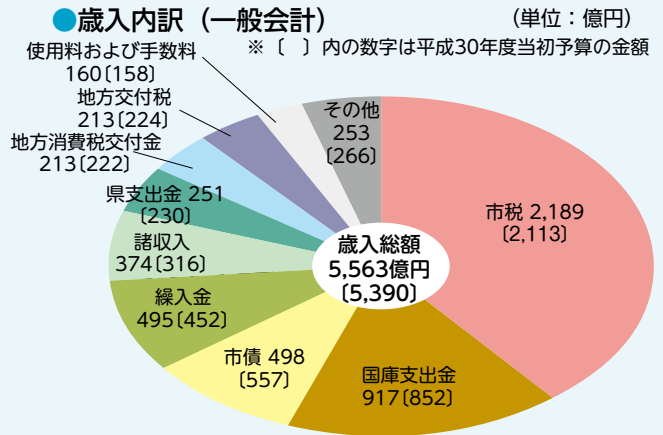
予算についてのお問い合わせは

財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、

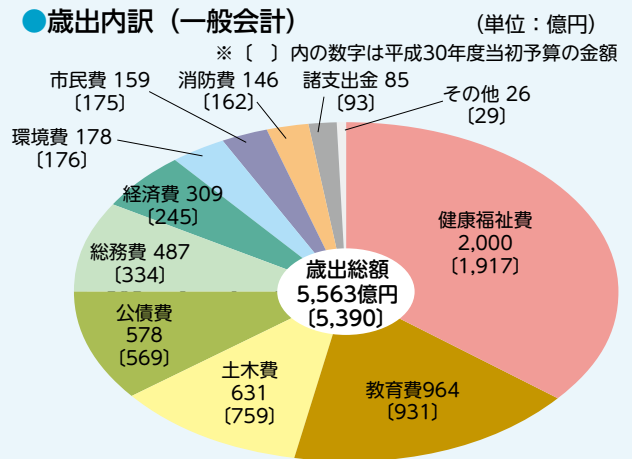
または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計**…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計**…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計**…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

## 歳入内訳（一般会計）



## 歳出内訳（一般会計）



# 10月1日から料金が変わります

10月1日から消費税率が8%から10%へ引き上げられるに伴い、各種使用料・手数料などを、おおむね2%改定します。

## ■地下鉄

	現行運賃	改定後運賃
1区	200円	210円
2区		250円
3区	300円	310円
4区	330円	340円
5区	360円	370円
定期運賃		おおむね2%を上限に改定

## ■市バス

普通運賃	0～20円の値上げ
定期運賃	おおむね2%を改定

※運賃改定実施前に購入した定期券・一日乗車券は、有効期限まで使用できます（差額の負担はありません）

問 交通局案内センター ☎222・2256

## ■水道・下水道・市ガス

水道料金、下水道使用料、ガス料金等の消費税相当分を改定します。

問【水道】水道局コールセンター ☎748・1111、【下水道】建設局業務課 ☎214・8809、【市ガス】ガス局お客さまセンター（通話料無料） ☎0800・800・8977

## ■その他

下記の使用料・手数料等の消費税相当分を改定します。詳しくは各施設にお問い合わせください。

- 施設使用料（各会議室・展示施設やスポーツ施設、市民センターなど） ※9月30日までに所定の手続きを完了すると、現行料金が適用されます
- 入館料など（科学館、天文台など）
- 診断書等交付手数料・保険外診療使用料（市立病院、各区役所保健福祉センター、診療所、休日夜間診療所）
- と畜検査手数料、開発行為許可等申請手数料など